

補助金を活用し、活動のスタートアップやステップアップをしたものの、継続して活動していくための自己資金の確保に苦勞する団体は少なくありません。自己資金の作り方にはどんな方法があるのでしょうか。

カントリーフェスティバル実行委員会

お話を伺ったのは、栃尾地域で年に一度、アメリカの片田舎のお祭りをコンセプトに、ステージパフォーマンスや、ハンドメイド小物・オリジナルフード販売などのイベントを開催している「カントリーフェスティバル実行委員会」。2013年に「認知度を上げたい」「オリジナリティーあるイベントにしたい」という想いから市民活動推進事業補助金を活用し、本格的なカントリーステージを実施。2年間、補助金を活用した後、現在では自己資金でイベントを運営しています。



話し手: 那須一美さん

今年は
9/23(日)開催!

自立への工夫① 収入を増やす!

ブース出店者から出店料をいただく他に、料理が得意な運営メンバーや市内の飲食店とのつながりを元に、実行委員会でも飲食ブースの出店を始めました。直径15センチの「ワイルドバーガー」を開発したところ、行列のできる看板商品となり、資金作りにつながっています。また、毎年数量を増やしたり、ミニバーガーのセットを新開発するなどオリジナルバーガーの磨き上げにも取り組み、売上を伸ばしています。



自立への工夫② 支出を減らす!

スタート当初はイベントの認知度を上げようと、プロのゲストミュージシャンを招いたこともありましたが、イベントを重ねる中で「今年も盛り上げに行くよ!」とステージに立てくれる近隣のアマチュアミュージシャンやダンスサークルなどつながることができました。お金を掛けたイベントを実施するよりも、みんなで作り上げるイベントの方が、アットホームで私たちがいい形。そう思ってから謝金などの支出を抑えることができました。



成果と今後の目標

コンセプトにこだわりながらイベントを継続してきたことで、スタート時からブース出展が3倍に増えました。出店料増と、来場者増にもつながり、好循環が生まれています。

資金づくりに苦勞は尽きませんが、周囲との協力関係を築き、アットホームなイベント作りを目指しています。それによりステージへの出演料が抑えられています。

資金に限りはありますが、これからも多くのお客さんから足を運んでもらえるように、新しいことにチャレンジしていきたいです。



Racotte
vol.68

発行 ● ながおか市民協働センター



学生のチャレンジに
伴走する街のお姉さん

廣川佳苗さん

インタビュー

interview



笠原真佐雄さん

地域に誇りを創る
控え目だけど熱い会長



we can do it!

私たちは〇〇ができます!

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん! 困りごと、協力してほしいことはありませんか? 私たちが力になりますよ!

団体①

「長岡観光ボランティアガイドの会」は、長岡の歴史や偉人についての講話ができます!

長岡への来訪者や小中学生をはじめとする市民の方々に長岡の文化、歴史、旧跡などのガイド案内をしています。ガイドはもちろん、長岡の歴史にまつわる講話も出来ますのでぜひご依頼ください。

詳細はこちら



団体②

「特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂」は、防災に関するイベント・授業の企画・コーディネートができます!

自然災害から人命を守る、防災力の強い社会を目指し、学校での防災教室(年70回程度)や防災訓練のサポート活動などを行っています。防災イベントの企画運営や、防災授業のコーディネートはお任せください。

詳細はこちら



information

私たちがつくる
「まちの文化祭」

9月8日(土)
10:00-15:00

ながおか市民活動フェスタ'18

会場 / アオーレ長岡全館



長岡の市民活動団体が大集合! その数なんと61団体。活力あふれる手づくりの活動で、暮らしを楽しく・豊かにする出会いがきっとあります! 毎年5,000人が足を運ぶ市民活動の祭典にぜひおこしください。



コライト

検索

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこっこのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。



2018.8.1 (vol.68) FREE 【発行】ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail.kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

●活動PickUp!

- ・特定非営利活動法人長岡ジュニアユースフットボールクラブ
- ・入東谷活性化プロジェクト
- ・特定非営利活動法人骨髄バンク命のアサガオにいがた
- ・理容ほしの

●市民活動・虎の巻

- ・補助金からの自立
- 話し手: 那須一美さん

●私たちは〇〇ができます!

- ・長岡観光ボランティアガイドの会
- ・特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂



毎週月曜日17時頃から放送中!

つながるラジオ

FMながおか 80.7MHz

ながおかの市民活動紹介番組 放送時間 10分程度 第5日曜日を除く

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー!

活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根拠り葉掘りお聞きしました。



廣川佳苗さん〈26歳／会社員〉ながおか農challeプロジェクト実行委員会、NPO法人思いのほか、長岡 音むすびフェス!! 実行委員会

“想い”を載せて、学生と大人を橋渡し
人との出会いを通して、長岡の魅力を伝えたい

出版編集社で働いたから様々な市民団体に所属し、「世界えだまめ早食い選手権」や「長岡音むすびフェス」など大規模イベントの裏方でも活躍する廣川佳苗さん。市民活動に取り組む楽しさを知ったのは大学生の頃。より充実した大学生生活を送るために、仲間たちとインカレサークルを立ち上げて交流イベントを企画したり、小国地域で農作業や地域行事に参加して地域交流に励んだりしました。「人生の転機」と振り返るほど特に記憶に残るのは、大学3年生の時に、まちなかキャンパス長岡学生委員として企画運営したファッションイベント。「400人もの来場者を集め成功に終わりましたが、関係機関との折衝や見守って下さる方々への説明や説得に大変苦労しました。親身になりつつも厳しく接して成功に導いていただいたまちなかキャンパスの職員さんには感謝がはいります。」

イベントの経験から、前面に出て引っ張るだけでなく、想いを持つ人をサポートすることも大切な役割と感じた廣川さん。最近、相談を寄せて来る学生たちの「やってみよう!」という気持ちを後押しすることにも注力しています。「私自身、様々な市民活動を通して長岡の頼りになる大人にたくさん出会いました。私が架け橋となってそんな大人と学生を繋ぐことで、実現の手助けができれば。」

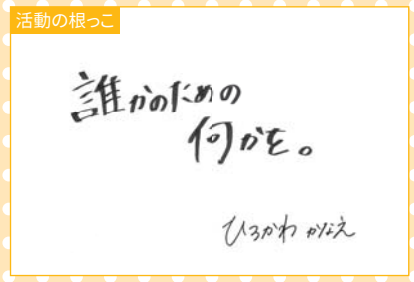
学生と接する際に、ただ困りごとを解決するだけではなく意識していることがあります。「市民活動に取り組んだり、活動をきっかけにカッコいい大人と出会うことで、長岡が好きになる人が増えてほしいですね。それも自分自身が活動を通してカッコいい大人と出会うことで、長岡の魅力を伝えたい。長岡に惚れた経験を持つからこそ。市民活動を通してますます自分のまちを好きになる。そんな好循環が廣川さんを中心に生まれています。」



●上:大学3年時に企画運営したファッションイベントを支えてくれた方たちへの恩返し。●左下:「NPO法人思いのほか」を始め多くの団体に所属。自分事として地域貢献活動に取り組むカッコいい大人たちに触発される毎日です。●右下:高校三年時に怪我をするまで打ち込んでいたボウリング。「ボウリング以外に自分に何が出来るのか」と見つめ直したことが市民活動の原点。

profile

- 1992年 新潟市に生まれる。
- 2010年 長岡市内の大学に進学。一年生の頃から小国地域での地域交流など、様々な市民活動・地域活動に携わる。まちなかキャンパス長岡学生委員は2年生から参加。
- 2014年 大学卒業後は長岡市内で就職。
- 2017年 7月に学生時代と卒業後の活動をもとに、母校で講師を務める。それを機に学生から相談が寄せられるように。



笠原真佐雄さん〈50歳／自営業〉中川清兵衛敬慕会、与板地域委員、与板再発見・歴史文化の掘り起こし事業委員会

合併しても残せる与板の誇りづくり
ビールでつなぐ地域の魅力

『日本のビール醸造の父』と旧与板町出身の中川清兵衛氏を全国に発信する中川清兵衛敬慕会。会長の笠原真佐雄さんが中川清兵衛を熱心にPRする理由は、ビールが好きということだけではありません。24歳の時、家業を継ぐため与板に戻った笠原さんは、すぐに商工会青年部に加入。青年部の部長を任された年に中越地震が起こり、ボランティア協力等、人員派遣をお願いされる機会が多く忙しかつた。「まちの人口も店も減少していくばかりで、今後の与板がどうなっていくのかとても不安でした。これからのまちについて考えていかなければと強く感じる1年でした。」

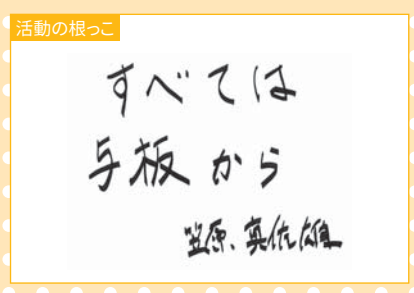
青年部卒業後は、商工会のまちづくり委員会に加入し、防災やまちの整備などに携わりました。そんなあるとき、与板の子どもたちが「与板の自慢は大判焼き」と言っていることを知り、長岡市と合併しても残したい与板の誇りとは何か、委員会メンバーで考えるようになり、着目したのが、中川清兵衛誕生の地であること。生誕碑を設置した平成12年に第1回ビールフェスタを開催し、与板とビールのつながりを強めていきました。「与板☆中川清兵衛記念BBQビール園」の設立に伴い、本格的に中川清兵衛をPRできるよう「中川清兵衛敬慕会」を立ち上げ。パンフレット等の作成やまち歩きイベントの企画などを行い、与板を盛り上げています。「たくさんの方に与板の魅力を伝えてほしいですが、押し付けたりすることなく、来てくれた人が与板に来て良かったと思ってもらえることが一番大事だと思っています。」



●上:中川清兵衛の認知度向上のため、パンフレットとコースターの配布活動にも熱心に取り組む。●左下:与板の商店街にある記念碑。イベントの前には記念碑の清掃も行っています。●右下:信頼できる仲間との楽しいひとときも大事にしている笠原さん。

profile

- 1968年 三島郡与板町(現長岡市)に生まれる。
- 1992年 東京から与板に戻り家業を継ぐ。同時に商工会青年部に加入。
- 2008年 商工会青年部卒業後、先輩に声をかけられ商工会まちづくり委員会に加入。
- 2016年 与板☆中川清兵衛記念BBQビール園の設立にあたり、「中川清兵衛敬慕会」立ち上げ。最年少ながら会長に推薦され、初代会長を担う。



活動PickUp!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

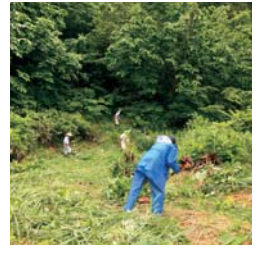
特定非営利活動法人長岡ジュニアユースフットボールクラブ サッカー・フットサルを通じた地域貢献



他県と比べサッカー選手を育成・指導するための環境が不十分な状況を変えたいという思いから平成13年に設立。平成16年に地域スポーツの活性化と青少年の健全育成の一翼を担えるクラブを目指し、サッカーチームとして県内初のNPO法人格を取得しました。現在は、JFA公認ライセンスを持つ指導員が指導にあたり、約250名の会員が在籍しています。サッカー・フットサルの文化を長岡に根付かせるためのきっかけづくりや、選手が育つ環境の充実を図っていきます。

入東谷活性化プロジェクト 山道整備で地域の歴史と未来の賑わいを切り開く

栃尾地域の西側に位置する6つの集落からなる入東谷地区では、平成28年秋から歴史と資源を掘り起こし、多くの人から訪ねてもらえるスポットをつくらせようと、魚沼市に通じる石峠や、松尾城址への山道整備を開始。自治会を超えて住民たちが集まり、生い茂る草木を慣れた手つきで切り開いています。今年10月開催予定のお披露目会では、「上杉謙信も食べたかもしれない!?石峠米を振る舞いたい!」と夢を膨らませています。



特定非営利活動法人骨髄バンク命のアサガオにいがた アサガオでつなぐ命のリレー



骨髄バンクのドナー登録の普及活動を行い、その一環の「命のアサガオ活動」では、白血病で亡くなった会長の息子さんや育てていたアサガオの種を配布しています。骨髄移植が必要な方を一人でも多く救うためには、多くの方のドナー登録が必要です。18歳以上54歳以下の健康な方が対象で、適合する患者さんが現れても、自分の体調等をみて骨髄提供辞退もできます。長岡市では認知度がまだまだ低いドナー登録が増えるよう、活動していきたいです。

理容ほしの

理容の枠を超え、地域に安らぎを

山古志地域で理容店を営んで48年。中越地震の際は、全村避難した先の仮設住宅ですぐに営業を再開し、避難した村民の髪を整えながら、村民同士の絆を深める交流の場ともなっていました。その後、山古志へ戻りまちの駅に加盟し、理容店ながら地域の茶の間として絶えず人が来店しています。また、「竹沢のみちクラブ291」を立ち上げ、直売所「幸福市」も運営。地域内外の人と交流の場をつくり、山古志から元気を発信しています。



みんなの声 / 投稿 随時募集中
「これも協働!」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿者 タロちゃんさん
先日、息子とケンカしました。「親子なのになんで分かり合えない!」と激昂してしまいましたが、親子とはいえ、年齢も性別も人格さえも違うわけで。息子には息子の言い分や価値観があるんですね。お互いに思いやって、譲り合って、落としどころを決めてゆく作業は「協働」のように感じました。

投稿者 夢の旅人さん
従兄弟が大坂に住んでいるので、7月の大雨の際はすごく心配しました。連絡が取れて、従兄弟は無事だしそこまで大きな被害は無かったようです。電話して気付いたけど、従兄弟に電話したのなんて何十年ぶり…。便りが無いのは無事な証拠とは言けれど、災害が無いと電話しないなとちょっと寂しいなあと思います。今はメール以外にSNSもあつちよからちよちよ連絡して日常的に情報交換してまよーと思います。

投稿方法
投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する
QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口には「みんなの声」コーナーから投稿できます。

